事　例　2　（小学校　2）

同性の友だちをいじめる女子小学生の事例

1. 主訴　　いじめ

2. 対象　　小学校６年，女子，Ｙ子

3. 問題の概要

- 身体に欠陥のある子のシューズをかくしたり下校中にその子の悪口や気にしていること（例えば，デブ，のろま，ぐず）を言って泣かせる。
- 日ごろ仲良くしている友人Ｋ子に，別の子が近づいて遊んでいる場面などを見ると，その後で近づいた子に対して「おまえはいばっている，なまいきだ」と言ったり，「これからはＫ子と遊ぶな」といやがらせをいうことが５年生の２学期の後半ごろからみられた。

4. 資料

(1) 心理的次元

- 知的発達

集団式知能検査偏差値は57，学業成績は普通である。

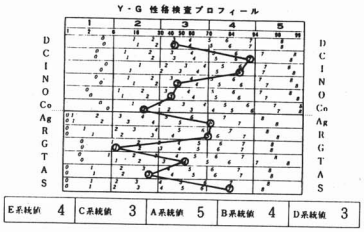
- 性格傾向

初孫ということもあり，家族からかわいがられて育った。乳幼児期から甘えっ子で，妹が生まれるまで，何でも自分の思い通りにしてきたところがある。

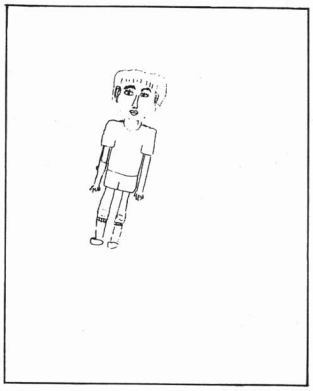
- 心理検査
  - 性格検査（ＹＧ）

判定はA″型である。劣等感をもちがちで感情がゆれ動きやすく，気分の変化が大きくなりやすい。自信のなさから，作業活動への取り組み方が消極的になっている。一方，自己顕示欲もあり，目立った行動をしたがる傾向がみられる。協調しようとするところはある。

――ＹＧ性格検査――



- 人物画（ＨＦＤ）



人物画から理解できること。

- 情緒が不安定，未成熟，幼児的，依存的。
- 他人から注目されたい，華やかさを求めたい。
- 外界からの批判や他人の意見に対する過敏性疑惑，警戒心がある。
- 他人に対して批判的，軽蔑の態度をもつ。自尊心が高い。
- 不安を示す。攻撃性をもつ。

(2) 社会的次元

- 家族構成

父…35歳，高校を卒業した後，会社勤めをしている。その後，婿養子の形で結婚する。おとなしい方で，家の中ではあまりしゃべらない方である。本人のことについては，不安を持ちがちで心配のあまり妻と言い争うことがある。